

姫路
えん罪花田郵便局強盗事件の再審開始を求めて

ジュリアス(仮名)さんを守る会

私は無実です。
再審請求の裁判を
します。

ご支援を
お待ちしております。

入会申込書

逮捕状もなく連行、暴行、「自白」強要

刑務所でケガ、処置不適切で5級の障がい

服役⇒釈放⇒入管收容、いま仮放免で移動制限

就労禁止で収入はなし、国外退去で家族離散の危機

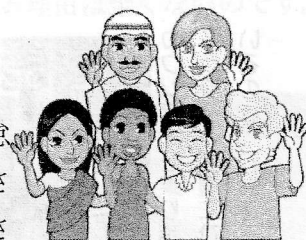
ジュリアス ナイジェリア人男性が強盗と間違えられて逮捕

2001年、2人組の郵便局強盗事件が発生。犯人はアフリカ系と聞きジュリアスさんを犯人と思い込んだ市民の通報でジュリアスさんが借りていた倉庫が搜索されたところ、被害金や犯行車両などが見つかりジュリアスさんは強制連行され、翌朝、逮捕されました。

しかし、ジュリアスさんの倉庫で働いていた男が自主。「自分は犯人の1人だが、共犯者はジュリアスではない。奪った金が思いがけず大金で、怖くなったので共犯者から金を取り返し、ジュリアスに相談しようと思い、ジュリアスに断りなく金や車を倉庫に隠した」と供述しました。ジュリアスさんは一貫して無実を訴え。しかし裁判で懲役6年が確定。いま、第二次再審請求を準備中です。

えん罪、人種差別、仮放免者の人権問題

ジュリアスさんは警察で暴力を受け、刑務所はケガの手当てもありません。仮放免者は仕事もできず許可なく県外に出ることも許されません。国外への退去強制で日本人の妻や子どもたちと引き離されないよう、いま、法務大臣に在留特別許可を求めています。



外国籍の人びとの人権問題

〒650-0022 神戸市中央区元町通6-6-12 日本国民救援会兵庫県本部

Tel 078-351-0677 / Fax 078-371-7376 E-mail hyqenkai@agate.plala.or.jp